

Makuhari's Memory

百聞は一見に如かず

令和4年7月上旬、3日間でしたが、管理職のためのリーダーシップ・マネジメント講座を受講しました。

職場内研修で同じような研修を受講したことはありませんが、今年度から課長職となったこともあり、また、全国各地の地方自治体の方のお話を聞けるいい機会だと考え応募しました。コロナ禍で、おそらく情報交換交流会は制限されているだろうと予測しつつも、それでも受講する価値はあるのではないかと、期待と不安を胸に抱きながら研修を待つ日々。

そして実際研修を受講しての感想は、経験と知見に豊富な2名の先生のお話は聞き洩らすことができないほどの充実した内容でした。「決定権は実務家公務員にはない」「私たちの行う行政判断はどちらが正しいかという正否を決めることではなく、どちらがより優れた方法かという優劣比較による選択」であること等、心に残ることが数多くあり、数年ぶりにメモだらけの手帳となりました。

現在の部署は、普段から年間100件以上の行政処分を行い、○×の判断をしていますが、こ

の文言は事業課に行ったときや有事の判断に際して役立つので、肝に銘じていきます。

感染症対策の観点から交流ができず、代表幹事とは名ばかりとなってしまいました。講座参加者の皆様にはこの場を借りてお詫び申し上げます。

コロナ禍ながらも流石の市町村アカデミーです。今更研修なんてと、躊躇している職員の方、百聞は一見に如かず、案ずるより生むが易し。勇気をもって参加してください。



坂本 直親

茨城県土浦市
農業委員会事務局長
〈受講研修科目〉
管理職のためのリーダーシップ・
マネジメント講座
第36期第1組（令和4年度）